

# TGR TEAM ZENT CERUMO

## 2020 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJIMAKI GROUP SUZUKA GT 300km RACE

第3戦 鈴鹿サーキット

## ZENT GR Supra

#38 立川祐路／石浦宏明

◆8月22日（土） RACE

決勝結果 リタイア

予選3番手としっかりと戦える手ごたえを得て、待望の好結果へ向けて8月23日（日）の決勝日を迎えた TGR TEAM ZENT CERUMO。この日も気温 32°C、路面温度 48°Cといううだるような真夏の日射しのなか、SUPER GT 第3戦の決勝レースのときを迎えた。



前日好感触を得た ZENT GR Supra だったが、チームは決勝に向けてさらなる味付けをほどこし、レース前のウォームアップ走行に臨んだ。ただ、ステアリングを握った立川はあまりいいフィーリングを受けることができなかった。とはいえ、その的確なインフォメーションに基づき、レーススタートまでのわずかな時間に、チームは ZENT GR Supra にさらなるセットアップを行い、午後1時からの決勝スタートのときを迎えた。



スタートドライバーを務めるのは立川。直後の1コーナーを3番手で通過し、早くもトップを走る#64 NSX-GT、2番手の#23 GT-R に接近していく。しかし後方ではGT300クラスの競り合いのなかでアクシデントが発生。オープニングラップにセーフティカーが導入されてしまう。

ZENT

GR TOYOTA  
GAZOO  
Racing

BRIDGESTONE

PMU  
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東大

BBS

SHIMADA  
BRAKE FLUID

MOTUL  
RACING OIL

# TGR TEAM ZENT CERUMO

レースは5周目にリスタートが切られるが、立川は前を走る#23 GT-R に狙いを定めると、5周目の日立オートモティブシステムズシケインでズバリとインを差し、2番手に浮上。さらにトップの#64 NSX-GT に接近していった。

予選まで抜群のスピードをみせていた#64 NSX-GT のペースがどれほどのものなのか、事前には予想がしづらい面もあったが、11周目、#64 NSX-GT と ZENT GR Supra、さらに3番手の#23 GT-R が急速に接近していく。立川にとっては千載一遇のチャンス。11周目の日立オートモティブシステムズシケインで今度はアウトに ZENT GR Supra を振り、トップ浮上を試みた。



しかし、#64 NSX-GT とわずかに接触があったか、立川はたまらずグリーンに飛び出してしまう。とはいえこのグリーンはそのまま抜けるものができるもので、ZENT GR Supra は直進すると、ダメージもなく#64 NSX-GT の前でコースに復帰した。ただ、コースをショートカットしている状況であるため、チームからは無線に#64 NSX-GT の後方にマシンを戻すよう指示が飛ぶ。

これでバトルは仕切り直し。12周目には#64 NSX-GT がシケインで白煙を上げ、ふたたび ZENT GR Supra が接近することができたが、今度は GT300 クラスの集団が GT500 クラスのトップ争いの前に現れる。混戦のなか、13周目の NISSIN ブレーキヘアピンで、GT300 マシンに詰まった立川を#23 GT-R がオーバーテイクしていった。

とはいえ、この状況は逆もまたあり得る。15周目には混戦のなか、ダンロップコーナーで立川は#23 GT-R とともに#64 NSX-GT をオーバーテイクしふたたび2番手に浮上。さらに立川の背後にいた WAKO'S 4CR GR Supra もこれかわしていく。僚友 WAKO'S 4CR GR Supra とともに追撃の姿勢をとったかに思われた ZENT GR Supra だったが、今度はペースに優る#100 NSX-GT が後方

ZENT

GR TOYOTA  
GAZOO  
Racing

BRIDGESTONE

PMU  
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東大

BBS

SHIMADA  
BRAKE FLUID

MOTUL  
MULTIGRADE OIL

# TGR TEAM ZENT CERUMO

から迫ると、16 周目、2 台に襲いかかってきた。

そんな 16 周目、ZENT GR Supra に突如として異変が襲う。ヘアピンの立ち上がりで、2 速ギアが入らなくなってしまったのだ。しかも折悪く、17 周目にはバックストレートに他車のパーツが飛散し、2 回目のセーフティカーが導入されてしまう。レーシングスピードに上げられず、ミッションの状況を確認することもできない。立川は無線でピットと盛んに交信しながら、状況確認を行った。



この状況ではピットに入らざるを得ないが、セーフティカー中はピットインは不可能。さらにドライバー交代が可能な周回数も近づいてくる。レースが続行できる可能性も視野に入れ、チームはスタンバイを終えた石浦宏明に状況を説明。23 周目のリスタートのときを迎えた。

しかし、バックストレートでセーフティカー解除に向け加速するはずが、ZENT GR Supra のスピードは上がらない。立川がパドルシフトを操作しても、反応しないのだ。優勝を争えるポテンシャルはもっていたはずが、無念のリタイアを決断せざるを得ない状況になってしまった。

立川は ZENT GR Supra をピットに戻すと、悔しい表情でマシンを下りた。第 4 戦からは、もう勝ちにいくしかない。TGR TEAM ZENT CERUMO は 3 週間後の第 4 戦もてぎでの逆襲を誓った。

## ドライバー／立川祐路

「ひさびさに戦える手ごたえを得たレースで、序盤から雰囲気も良く、自分としても自信をもってレースを進めることができました。優勝を争える確信があっただけに、こういう結果に終わってしまったのは本当に残念です。まだ原因が分かりませんが、突然ミッションが壊れてしまった状況



# TGR TEAM ZENT CERUMO

でしたね。正直、今回こそ……という手ごたえがあったレースだけに、ショックでした。まずは一度気持ちを切り替えて第4戦に挑みたいと思っています。とにかく勝つことを目指して頑張っていきたいです」

## ドライバー／石浦宏明

「レース序盤から立川選手らしい走りをみせてくれて、フィーリングも良さそうでしたので、十分優勝を争えるポテンシャルがあると思っていました。また今季、GT300で新しいドライバーも参戦していたりして、ふだん以上に危険も多いレースとなっていましたが、そのなかでも戦えるパフォーマンスはあると思っていました。セーフティカー前に、2速が入らないという連絡が入りましたが、2速がない状態で、しかもパドルシフトですの、飛ばしシフトもできません。リタイアを決断せざるを得ませんでした。今回ポイントが獲れなかったので、次戦以降勝ちを狙うしかないと気持ちを切り替えています。ミスがあったわけではないと思いますので、チーム全員で前を向くことが大事だと思っています」



## 村田淳一監督

「ファンの皆さん、応援してくださる皆さんに申し訳ないレースとなってしまいました。序盤は立川選手のペースも良く、GT300の処理等で前にいかれることはあったものの、タイヤもセーブできていましたし、ライバルたちの前に出られるペースもあったと思います。それだけに残念ですね。またセーフティカーが入る直前のヘアピンで加速中に2速を失ってしまい、レーシングスピードではないので状況も分からないなかで、チームとしてもなんとか走って欲しいと続けましたが、結果的にSC明けに渋滞を作ってしまう、14号車をはじめ他の車両には申し訳ないことをしてしまいました。今後こういうことが起きたときの対処を考えなければいけません」



# TGR TEAM ZENT CERUMO

## 決勝結果

Rank	Car No.	CarName	Laps	BestLapTime
1	23	MOTUL AUTECH GT-R	52	1'50.346
2	100	RAYBRIG NSX-GT	52	1'50.515
3	36	au TOM'S GR Supra	52	1'50.413
4	64	Modulo NSX-GT	52	1'50.096
5	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	52	1'50.831
6	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	52	1'51.137
7	37	KeePer TOM'S GR Supra	52	1'51.137
8	17	KEIHIN NSX-GT	52	1'51.242
9	14	WAKO'S 4CR GR Supra	52	1'50.935
10	19	WedsSport ADVAN GR Supra	52	1'50.893
11	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	52	1'51.296
12	12	CALSONIC IMPUL GT-R	46	1'51.290
13	8	ARTA NSX-GT	36	1'50.534
<b>14</b>	<b>38</b>	<b>ZENT GR Supra</b>	<b>22</b>	<b>1'50.701</b>
15	16	MOTUL MUGEN NSX GT	4	1'55.023

ZENT

GR TOYOTA  
GAZOO  
Racing

BRIDGESTONE

PMU  
RACING PADS

WAKOS

ADVICS

HEISEL

asics

JMS

T-SELECT

トヨタ東自大

BBS

SHIMADA  
BRAKE FLUID

MOTUL  
RACING WEAR

# TGR TEAM ZENT CERUMO

## ポイントランキング

Rank	Car No.	CarName	Point
1	36	au TOM'S GR Supra	41
2	37	KeePer TOM'S GR Supra	33
3	100	RAYBRIG NSX-GT	26
4	14	WAKO'S 4CR GR Supra	24
5	17	KEIHIN NSX-GT	23
6	23	MOTUL AUTECH GT-R	22
7	39	DENSO KOBELCO SARD GR Supra	17
<b>8</b>	<b>38</b>	<b>ZENT GR Supra</b>	<b>12</b>
9	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	12
10	64	Modulo NSX-GT	9
11	8	ARTA NSX-GT	4
12	19	WedsSport ADVAN GR Supra	3
13	12	CALSONIC IMPUL GT-R	2
14	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	1
15	16	MOTUL MUGEN NSX GT	0

